

基本目標3 男女共同参画を次の世代につなげよう(基本施策7～10)

基本施策7 若い世代への分かりやすい男女共同参画

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
26	男女平等意識を育む保育の実施	子育て支援課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 保育所長及び保育士 目的: 子どもたちが性別による固定観念にとらわれずに成長していけるような保育を行っていく。 内容: 男女の区別なく遊具や遊びを楽しめる環境づくりに努める。また、名前の呼び方や言葉掛け等、様々な場面において男女を区別しないよう注意する。 職員会議において、互いに問題を提起し、解決策を探り、共通認識を深めることにより、男女共同参画に関する正しい理解と実践に取り組む。 前年度からの改善点: 日常保育及び所長会議等の職員ミーティングの場において、職員全員の意識を高めていく。 目標値: 所長会議等の場で年3回以上職員間での意識共有を行う。</p>	<p>内容: 保育所長が集まる会議において啓発を行った。 工夫した点: 保育所長が集まる会議において現状や問題点等の情報交換を行い、保育所の意識統一を図る。 研修会等に積極的に参加する。 目標値に対する結果: 所長会議年3回開催で目標値達成</p>	<p>保育所長会議の場や研修会等において更なる啓発を図っていく。</p>	<p>A 1…3点 2…— 3…3点 4…— 5…3点 6…3点 合計 12/12= 100%</p>
27	男女平等意識を育む人権教育の推進	小中一貫教育推進課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 全市立学校 目的: 男女平等の意識を育むには、子どもの頃から意図的、継続的に教育の機会を設定することが大切である。そのため、性差別を含むあらゆる差別をしない、見逃さない、許さない児童生徒の育成に重点を置き、全市立学校での人権教育を推進する。 内容: 全市立学校が、性による差別を含むあらゆる差別をしない、見逃さない、許さない児童生徒の育成を目指した人権教育を推進するよう、学校訪問等を通じて指導、助言を行う。 前年度からの改善点: 人権教育授業の実施が年度末になる学校がある。年間を通じて計画的に実施するよう各校に働き掛ける。 目標値: 学校訪問、校長会議を通じて全市立学校に指導、助言を行う。 全市立学校が年2回以上の人権教育に関する職員研修を行う。 全市立学校が全ての学級で年2回以上の人権教育授業を行う。</p>	<p>内容: 校長会議、生徒指導・学校運営訪問を通じて、全市立学校に指導、助言を行った。また、全市立学校で、人権教育に関する職員研修、全学級で人権教育授業をそれぞれ年2回以上行った。 人権教育に関する職員研修: 3回…2校、2回…26校 全学級での人権教育授業: 3回…4校、2回…24校 工夫した点: 校長会議で「第2次三条市男女共同参画推進プラン」を説明し、「基本目標」「基本施策」の共通理解を図った。 生徒指導・学校運営訪問で、性による差別を含む人権教育の実施について要項に記載し、全市立学校に指導・助言した。 目標値に対する結果: 指導助言100%、人権教育職員研修100%、人権教育授業100%で目標値達成</p>	<p>1月末までに人権教育に関する職員研修を2回完了していない学校が1校あった。計画的に職員研修を実施できるように指導する。</p>	<p>A 1…3点 2…— 3…3点 4…2点 5…3点 6…3点 合計 14/15= 93.3%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
28	多様な性を尊重する教育の充実	小中一貫教育推進課	継続	<p>実施時期:通年 対象:全市立学校 目的:性差別に基づく役割分担意識が根強く残っている状況を解消していくためには、多様な性に関する理解を深め、互いに尊重し合う態度を育成していくことが大切である。そのために、義務教育9年間を通じて計画的に性に関する指導を推進する。 内容:全市立学校が、義務教育9年間の発達段階を踏まえ、専門家や養護教諭との連携による性に関する指導を充実させるよう、学校訪問、校長会議を通じて指導、助言を行う。 前年度からの改善点:心身の発育・発達に限らず、自他の個性の尊重や望ましい人間関係の構築等に関する内容の指導も含まれることを周知し、多様な取組を促す。 目標値:学校訪問、校長会議を通じて全市立学校に指導、助言を行う。 全市立学校が全ての学級で性に関する指導を行う。</p>	<p>内容:6月の校長会議で、「性に関する指導の手引き」の指導計画例を示し、全市立学校長に周知を図った。また、生徒指導・学校運営訪問を通じて、全市立学校に再度指導、助言を行った。全市立学校全学級で「性に関する指導」を1回以上実施した。 全学級での性に関する授業:2回…5校、1回…23校 工夫した点:校長会議で「第2次三条市男女共同参画推進プラン」を説明し、「基本目標」「基本施策」の共通理解を図った。 校長会議で「LGBT」についての民間調査結果を紹介し、どの学校にも性について悩んでいる児童生徒がいる可能性が高いことを指導した。 目標値に対する結果:指導助言100%、性に関する指導100%で目標値達成</p>	<p>来年度は、市立学校教職員対象の性的マイノリティに関する研修を実施し、多様な性に関する理解を深められるようにする。</p>	<p>A 1…3点 2…1 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 15/15= 100%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課評価
29	こどもエブロンクラブ	地域経営課 (大崎会館)	継続	<p>実施時期:8月5日(木)、12月18日(土)</p> <p>対象:大崎・保内地区の小学生</p> <p>目的:男女の隔てなく、平等に家事に対して興味を持ってもらえるよう、料理教室を通じて意識の向上を図る。</p> <p>内容:男女関係なく、小さいころから家事に興味を持てるよう、小学生を対象とした料理教室を実施する。</p> <p>会場:大崎会館分館 料理実習室・講義室</p> <p>定員:10人(新型コロナウイルスの状況により、減少する可能性あり)</p> <p>前年度からの改善点:男女問わず簡単に楽しくできそうなメニューを設定し、チラシやポスターなど男女の偏りが出ないデザインとする。</p> <p>目標値:男子児童の参加率30%以上</p> <p>予算額:14千円</p>	<p>参加者数:8/5…11人(うち男性6人、女性5人)、12/18…10人(うち男性5人、女性5人)</p> <p>内容:1回目…ねりきり作り、2回目…クリスマスケーキ作り</p> <p>工夫した点:1回目は子どもに「ねりきり」が分かりにくいと思われたので、チラシなどには写真を多めにして作るものを想像できるようにした。また、2回目は低学年、特別支援学級の児童について親子で参加できるようにした。</p> <p>目標値に対する結果:各回とも男子児童の参加率50%以上で目標値達成</p> <p>決算(見込)額:14千円</p>	<p>図画工作の要素を入れると特に男子児童が興味を持つようなので、企画や広報を工夫していきたい。また、今回は洗い物をさせずに帰したが、洗い物まで含めたほうがより男女共同参画として良かったと思うので、来年度は洗い物まで行う。</p>	<p>A</p> <p>1…3点</p> <p>2…3点</p> <p>3…2点</p> <p>4…3点</p> <p>5…3点</p> <p>6…3点</p> <p>合計</p> <p>17/18=</p> <p>94.4%</p>
30	きっず！楽しくクッキング	生涯学習課 (大島公民館)	継続	<p>実施時期:7月、3月</p> <p>対象:主に大島・須頃地区の小学生</p> <p>目的:男女の分け隔てなく、平等に家事に対して興味を持ってもらえるよう、料理教室を通じて意識の向上を図る。</p> <p>内容:男女関係なく、子どもたちが料理を作る楽しさを知り、家庭で料理するきっかけになるように開催する。</p> <p>前年度からの改善点:子どもたちが作りたくなるようなメニューで開催する。</p> <p>目標値:男子児童の参加率30%以上</p> <p>予算額:14千円</p>	<p>参加者数:7月…8人(うち男性3人、女性5人)</p> <p>内容:</p> <p>7月…ランチ作り(いなりずし、豚肉のパン粉焼き、オレンジカップケーキ)</p> <p>3月…中止</p> <p>工夫した点:男女問わず料理を作り、楽しさを知ることによって子どもの頃から男女共同参画の意識を育てる。</p> <p>目標値に対する結果:男子児童の参加率37.5%で目標値達成</p> <p>決算(見込)額:14千円</p>	<p>男子児童の参加が更に増えるようメニューを工夫する。</p>	<p>A</p> <p>1…3点</p> <p>2…3点</p> <p>3…3点</p> <p>4…3点</p> <p>5…3点</p> <p>6…3点</p> <p>合計</p> <p>18/18=</p> <p>100%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
31	さかえきつずキッチン	生涯学習課 (栄公民館)	継続	<p>実施時期:1月～3月(1月16日(日)、3月20日(日)予定) 対象:栄地区の小学生と保護者 目的:性別や世代に関係なく、生活に必要な家事に対して興味を持ってもらえるよう、料理教室を通じて意識の変革を図る。 内容:基本的な調理技術の習得と作ることの喜びを体験する親子で参加の料理教室。性別や世代に関係なく生活に大切な家事スキルを楽しく学ぶ。 前年度からの改善点:女子児童、女性保護者の参加割合が多かったため、実施内容の検討とPR方法を工夫し様々な人ができるようにする。 目標値:男子児童・男性保護者の参加割合30%以上 予算額:32千円</p>	<p>参加者数:1/16…9人(うち男性2人、女性7人)、3/20…中止 内容:基本的な調理技術の習得と作ることの喜びを体験する家族で参加の料理教室。性別や世代に関係なく生活に大切な家事スキルを楽しく学ぶ。 男子児童の参加が2人あったが、日頃から家でもやっている印象を受けた。保護者の意識が男女関係無く、調理技術を習得してほしいという考えに変化してきている。 工夫した点:調理の楽しさを覚えてもらうため、事前に講師と試作や打合せを行った。作るパンの半分チョコを入れたり、ほうれん草を使う予定を子ども達が食べやすい小松菜に変更したり、子ども用の包丁を用意したりと楽しく参加できるように工夫した。また、子ども達が難しい工程は大人が担当するなど家族で分担して協力できたことも良かった。 目標値に対する結果:男子児童・男性保護者の割合が22.2%で目標値未達成 決算(見込)額:32千円</p>	<p>性別や世代に関係なく、生活に必要な家事に対して興味を持ってもらえるよう、料理教室を通じて意識の変革を図る。</p>	<p>B 1…3点 2…2点 3…3点 4…2点 5…2点 6…1点 合計 13/18= 72.2%</p>
32	子ども料理教室	生涯学習課 (下田公民館)	継続	<p>実施時期:7月、8月 対象:下田地区の小学生 目的:次代を担う子ども達が男女に関わらず、料理においての知識を身に付け、その後の生活に役立てる事を目的とする。 内容:子どもたちが男女問わずに料理に興味を持ち、基本から応用まで学ぶことにより、家庭でも作る事ができるようになるよう、子ども向けの料理教室を実施する。 前年度からの改善点:男女・学年問わず、簡単に楽しく作れるような内容を考える。また、普段あまり料理に興味のない子どもでも作ってみたいくなるようなメニューを取り入れる。 目標値:男子児童の参加割合が30%以上 予算額:14千円</p>	<p>参加者数:7/30…20人(うち男性6人、女性14人)※8月は中止 内容:フルーツサンドイッチ作り 工夫した点:子どもたちが興味を持ってくれるような内容を考えた。また、作ることの楽しさを教えることで、男女ともに料理に興味を持ち、その後も自宅で作ることができるよう工夫した。 目標値に対する結果:参加者の男子児童の割合が30%で目標値達成 決算(見込)額:14千円</p>	<p>来年度も男女が協力して楽しく料理を作れるような内容を考える。</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…2点 合計 17/18= 94.4%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課評価
33	中学生・高校生のためのデートDV防止セミナー	地域経営課	継続	<p>実施時期:通年 対象:中学生及び高校生 目的:交際相手からの暴力の問題について考える機会としてもらい、正しい知識と理解を深めることによりデートDVの防止を図る。 内容:講師とともに学校に出向き、セミナーを実施する。 前年度からの改善点:内容満足度を高めるため、学校及び講師とよく連携を図りながら開催する。 目標値:デートDVについて理解を深めたと回答した割合90%以上 予算額:50千円</p>	<p>参加者数:6/22(大崎学園)…74人、7/13(本成寺中)…88人、12/1(栄中)…73人 内容:1時限分を使い、デートDVについてのセミナーを行った。 工夫した点:学年部の先生方からセミナー内の劇に参加いただくことで生徒の興味を引き出すことができた。 目標値への到達度:アンケートでデートDVについて理解を深めたと回答した割合98.3%(231/235人)で目標値達成 決算(見込)額:75千円</p>	<p>今年度、本セミナー未実施校であった中学校1校については実施できたため、引き続き実施できていない高校2校についても働き掛けを行う。 また、既に実施済の学校に対しても開催の働き掛けを行う。</p>	<p>A 1…3点 2…— 3…— 4…2点 5…3点 6…3点 合計 11/12= 91.7%</p>
34	児童・生徒に対する意識啓発	地域経営課	継続	<p>実施時期:通年 対象:小学生及び中学生 目的:性別に捉われない家事の関わり方や職業選択に対する理解を促し、男女共同参画に対する意識啓発を図る。 内容:講師とともに学校に出向き、児童用啓発冊子を活用しながらセミナーを実施する。 前年度からの改善点:児童に多くの気付きを得てもらうため、講師と相談し授業の展開方法などの改良を図る。 目標値:性別に捉われない家事参加や職業選択について「興味を持った」と回答した割合80%以上 予算額:160千円</p>	<p>実施日:6/29(笹岡小)、7/13(井栗小)、10/12(森町小)、11/9(大浦小)、11/10(月岡小)、11/11(大浦小)、11/12(嵐南小)、11/16(須頃小) 講師:女性消防士【職業】、男性保育士【職業】、はっぴーズ コミュ 代表 土田陽子氏【家事】 内容:性別に捉われない家事を題材とした男女の協力に関する講座を3回と性別に捉われない職業選択に関する講座を5回開催した。 工夫した点:家事カードの活用方法や講座の流れなど児童の学びに寄り添う実施方法について、学校側と打合せを行い実施した。 目標値:性別に捉われない家事参加や職業選択について「興味を持った」と回答した割合100%で目標値達成 決算(見込)額:40千円</p>	<p>今年度は講師との事前打合せの際により児童が気付きを得やすい事業展開について検討し、実施した。 来年度も引き続き、各学校の児童の様子や特徴を担任から聞き取り、事業展開についての工夫を行う。</p>	<p>A 1…3点 2…— 3…— 4…3点 5…3点 6…3点 合計 12/12= 100%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課評価
35	子育て世代に対する意識啓発	地域経営課	継続	<p>実施時期:通年 対象:市民 目的:男女の区別のない家事・育児の関わり方について、婚姻時に意識啓発を行うことで、夫婦間で家事分担について話し合うきっかけを作り、男女間の相互理解の増進に努める。 内容:男女の区別のない家事・育児の関わり方を促すチェックシート等を婚姻届受理時に配布する。 予算額:50千円</p>	<p>対象:婚姻届を提出される夫婦 内容:市民窓口課ほか対象窓口で「家事シェアリングリーフレット」を配布 工夫した点:夫婦と一緒に作業する記入型リーフレットとし、お互いの家事に対する認識や今後の分担について考える内容となっている。大谷地和紙の記念台紙に挟んで保管することもできる。 決算(見込)額:23千円</p>	<p>来年度は育児の関わり方に関する啓発物等の作成を検討していく。</p>	<p>A 1…3点 2…— 3…3点 4…2点 5…3点 6…— 合計 11/12= 91.7%</p>

基本施策8 性別を理由にするあらゆる暴力の追放

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課評価
36	DV(デートDV)防止の意識啓発の推進及び相談体制の充実	子育て支援課	継続	<p>実施時期:通年 対象:市民 目的:DV、デートDVについての正しい知識を市民に浸透させ個人の尊厳を傷つける暴力は許さないという意識を社会全体で共有する。 内容:DVは重大な人権侵害であるという認識を深め、DV防止に向けた意識啓発を図るため、リーフレットやポスターの掲示、燕三条FM(DV、デートDVに関する放送)等で啓発を行う。早期に相談体制がとれるよう、関係機関との連携強化に努める。 前年度からの改善点:研修会、講演会へ参加し関係機関との連携に努める。 予算額:62千円</p>	<p>内容: ・女性関連施設相談員オンライン研修、性暴力、配偶者暴力被害者支援のためのオンライン研修、新潟県配偶者暴力防止実務担当者ウェブ会議 などに参加 ・女性のつながりサポート事業ポスター、カードを窓口に設置 ・成人式にデートDVについてのリーフレットを配布 工夫した点:消防本部に必要な方へのカードの配布をお願いした。 決算(見込)額:61千円</p>	<p>引き続き、DV(デートDV)防止の意識啓発を推進し、継続して事業を行っていく。中学校、高校のためのデートDVセミナーなどにも参加する。</p>	<p>A 1…ー 2…ー 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 12/12= 100%</p>
37	中学生・高校生のためのデートDV防止セミナー(再掲)	地域経営課	継続	No.33に同じ			
38	市民に対する広報・意識啓発	地域経営課	継続	<p>実施時期:通年 対象:市民、事業者 目的:性別を理由とするあらゆる暴力を防止するため、家庭や職場等で人権が尊重されるよう啓発活動に努める。 内容:ホームページや燕三条FM放送等で啓発を行うとともに、各種講座開催時にDV防止啓発リーフレットを配布する。「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11月12日から25日まで)に関する周知を行う。</p>	<p>内容:燕三条FM放送で「女性に対する暴力をなくす運動」について周知した。「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて市役所内及び男女共同参画センターにポスターの掲示及びチラシの設置を行った。</p>	<p>引き続き、性別を理由とするあらゆる暴力を防止するための啓発をしていく。</p>	<p>A 1…3点 2…ー 3…ー 4…3点 5…3点 6…3点 合計 12/12= 100%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課評価
39	セクシュアル・ハラスメント防止のための教職員に対する啓発活動	小中一貫教育推進課	継続	<p>実施時期:通年 対象:全市立学校 目的:セクシュアル・ハラスメントは重大な人権侵害であり、決して許されないものである。教育の場である学校現場からセクシュアル・ハラスメントを絶対に起こさないという意識を全市立学校教職員に徹底する。 内容:全市立学校が、教職員によるセクシュアル・ハラスメントの発生を防止できるよう、学校訪問や教職員管理に関わる通知等を通じて指導、啓発を行う。 前年度からの改善点:昨年度発生が0件だったことに気を抜かず、学校訪問、校長会議で確実に指導を行う。 目標値:学校訪問、校長会議、通知を通じて全市立学校に指導、啓発を行う。 全市立学校でのセクシュアル・ハラスメントの発生がない。</p>	<p>内容: ・ハラスメントの防止を含む教職員の綱紀の保持及び服務規律の確保に関わる通知や指針を全市立学校に発出した。校長会議でも校長に指導した。 ・生徒指導、学校運営訪問を通じて、全市立学校に指導、助言を行った。本年度、セクシュアル・ハラスメントの発生報告は0である。 工夫した点:校長会議で「第2次三条市男女共同参画推進プラン」を説明し、「基本目標」「基本施策」の共通理解を図った。 目標値に対する結果:指導助言100%、発生の報告なしで目標値達成</p>	<p>来年度も、教育の場である学校現場からセクシュアル・ハラスメントを絶対に起こさないという意識を全市立学校の全教職員に徹底する。</p>	<p>A 1…— 2…— 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 12/12= 100%</p>
40	相談体制の充実	市民窓口課	継続	<p>実施時期:通年 対象:市民 目的:性別を問わずDV等の相談に対し丁寧な聴き取りを行った上で、適切な助言や情報提供を行い、必要に応じて関係機関等と連携を図りながら相談体制の充実に努める。 内容:市民なんでも相談室で受け付ける相談の中で、DVやセクハラ、JKビジネスに起因する事案又は遠因等となっている事案について、適切に対応するとともに、市の関係課や関係機関と連携し、未然防止や早期解決に努める。 予算額:911千円</p>	<p>DV等の相談件数:4件 内容:DV等に関する相談については、子育て支援課の女性相談や弁護士相談、警察等、適切な相談窓口につないだ。 工夫した点:DV等の被害に遭っている相談者を継続的な支援ができる機関へ繋ぎ、関係課と連携した。また、法律相談を希望する相談者には弁護士相談を案内した。 決算(見込)額:910千円</p>		<p>A 1…— 2…— 3…— 4…— 5…3点 6…— 合計 3/3= 100%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課評価
41	LGBT理解促進のための市民向け意識啓発活動	地域経営課	新規	実施時期:12月11日(土) 対象:市民 目的:性の多様性について広く市民が理解を深め、考えるきっかけとなる機会を提供することにより、LGBTに対する適切な理解促進の機運を高めるとともに意識啓発を図る。 内容:LGBTについてより身近に感じてもらうため、当事者からの講演等を行う。あわせて、LGBTに関するパネルの展示等を行う。 目標値:参加者数150名以上	参加者数:200人 内容:【第1部】「日本の社会でマイノリティであること～LGBTを理解する～」、【第2部】「性的マイノリティワンポイント講座」、「対談もつとみんなが自分らしく生きるために」 工夫した点:性的マイノリティの当事者で知名度のある方を講師に招き、フォーラムを開催した。また、フォーラム会場でLGBTに関する啓発物を展示し、LGBTへの理解促進を図った。 目標値に対する結果:参加者数200人で目標値達成 決算(見込)額:332千円	今年度同様に知名度のある方を講師として招き、当事者の経験を中心とした講演を行うことで、市民にLGBTの存在を身近に感じてもらうよう努める。また、フォーラムのほかにポスター等LGBT理解促進のための啓発物を作成することで、より性別に捉われない寛容なまちの実現に向けて事業を推進していく。	A 1…3点 2…2点 3…3点 4…— 5…3点 6…3点 合計 14/15= 93.3%
42	LGBT理解促進のための職員向け意識啓発活動	地域経営課	新規	実施時期:8月19日(木) 対象:市職員 目的:市職員が率先して性の多様性について理解を深め、性的少数者に配慮した行動を取ることができるよう意識啓発を図る。 内容:管理職職員、市民と接する機会が多い職員等を対象に研修会を実施する。	内容:三条市の性的マイノリティに関する事業のアドバイザーを務めていただいている黒田隆史弁護士を講師に招き、「性的マイノリティ研修 基礎からもう一步先へ」と題して、職員研修を実施した。 工夫した点:講演をzoomでの配信及び動画保存することで、全職員が受講できるようにした。 決算額:363千円(性的マイノリティ事業アドバイザー委託料を含む)	引き続き、全職員を対象に研修を行い、性的少数者に配慮した行動を取ることができるよう努める。研修のアンケート等を取ることで、職員の性的マイノリティに関する理解が進んだかどうか確認し、事業の評価を行う。	A 1…3点 2…— 3…— 4…— 5…3点 6…3点 合計 9/9= 100%

基本施策9 みんなで知る男女共同参画

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課評価
43	男女共同参画関連資料の収集・提供	生涯学習課 (図書館)	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 市民 目的: 男女共同参画関連資料の提供に継続して当たり、利用者に向けた情報の拡充と利用促進を図る。</p> <p>内容: ・関連資料を選択して収集の上提供 ・「男女共同参画関連資料コーナー」の資料充実による情報発信 ・ブックリストの作成・配布 ・図書館ホームページにブックリストを掲載 ・男女共同参画に関連したテーマ特集を本館特集コーナーで実施</p> <p>前年度からの改善点: 特集コーナーやブックリストの活用等で男女共同参画推進に関する情報発信に努め、利用者の関心を高めていく。 図書館本館、栄分館にて子育て関連資料を集めた「ママ本」コーナーを設置しているが、男女共同参画を推進している旨が分かるよう名称変更を検討する。 目標値: 新たな関連資料を前年度同数(104冊)以上収集の上、利用者へ提供する。</p>	<p>内容: ・ブックリスト(2020年度下半期 購入分)を9月10日に作成し、本館・栄分館・下田分館で来館者に提供した。2021年上半年期分は現在制作中 ・9月12日に上記のブックリストを図書館ホームページに掲載した。 工夫した点: ・男女を問わず直面する問題についての資料を積極的に受け入れ、リスト化を行った。 ・図書館本館、栄分館にて子育て関連資料を集めた「ママ本」コーナーを「子育て本コーナー」と名称変更し、男女共同参画推進の周知に努めた。 ・11月の特集展示テーマを「いい夫婦の日」とし、多様な夫婦や家族、パートナー関係についての図書を本館、栄分館、下田分館で提供した。 目標値に対する結果: 令和3年度に関連資料を 110冊(1月31日現在)購入し、目標値達成。男女共同参画に関する情報発信に努め、ブックリストの活用や関連資料コーナーの周知などを通じ、利用者の関心を高めた。</p>	<p>男女共同参画関連資料の提供に継続して当たり、利用者に向けた情報の更なる拡充と利用促進を図る。</p>	<p>A 1…ー 2…ー 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 12/12= 100%</p>
44	広報・啓発活動	地域経営課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 市民 目的: 男女共同参画意識の浸透を図る。 内容: 男女共同参画推進について、ホームページ、燕三条FM放送など様々なメディアを活用し情報提供を行うとともに、講座等開催時のディスプレイ等の表示、チラシ・ポスターの配布など、あらゆる機会を捉えて啓発を行う。 目標値: FM放送回数8回</p>	<p>内容: 燕三条FM放送では、年間8回放送を行った。また、セミナーや講座開催時に男女共同参画についての説明を行ったり、パンフレットを配布するなど啓発に努めた。 工夫した点: 燕三条FMのほか、「三条市勤労者福祉共済だより」で講座に関する記事掲載を行った。 目標値に対する結果: 燕三条FM放送回数8回で目標値達成</p>	<p>男女共同参画意識の浸透を図るため、引き続き幅広い団体へ啓発を行う。</p>	<p>A 1…3点 2…ー 3…ー 4…3点 5…3点 6…3点 合計 12/12= 100%</p>

基本施策10 女性の視点を活かした防災

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課評価
45	自主防災組織等の育成・強化	行政課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 市内全域 目的: 女性が自主防災組織等の活動に参画するよう研修会、説明会、意見交換会等を通じて啓発を図る 内容: 地域の防災力の強化を図るため、自主防災組織の育成・強化や自治会等が行う防災活動への支援に努めるとともに、女性が組織等の活動に参画するよう自主防災組織の立ち上げについて意見交換会、防災訓練時などで説明し、啓発を図る。 また、市民向けの防災研修会実施にあたっては、女性の参加を促進する視点で企画し、防災意識の啓発を行うことにより、自主防災組織への女性の参画を促す。 前年度からの改善点: 自主防災組織役員に女性の参画(登用)を要請 目標値: 自主防災組織登録数の3割(118団体*0.3=35.4≒35団体)</p>	<p>内容: 自主防災組織の育成・強化及び自主防災組織等活動への女性の参画を促すため、6/3～6/5に自治会長及び民生委員・児童委員を対象に地区別の地域防災研修会を開催するとともに、自治会等の防災訓練、防災研修等の支援を行った。 今後も自主防災組織等の育成・強化等につながる研修会等の開催や地域支援に努める。 工夫した点: 地域防災研修会や地域での防災研修などの場で、災害時の対応や防災訓練などで多様な主体が参画する意義について説明を行った。 目標値に対する結果: 自主防災組織登録数の22%で目標値未達成</p>	<p>ほとんどの地域において自主防災組織は自治会とほぼ同じ組織であり、その防災活動においても自治会活動の一環として行われていることから、女性の委嘱率が高い民生委員・児童委員と自治会が一体となって地域の防災活動が図られるよう推進していく。</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…2点 合計 17/18= 94.4%</p>
46	広報・啓発活動		継続	<p>実施時期: 通年 対象: 市民 目的: 防災・災害分野への女性の参画を促進する。 内容: ホームページや燕三条FM放送等で、防災・災害の分野における女性の視点の必要性等について啓発を行う。 目標値: FM放送回数1回</p>	<p>内容: 7月8日、12月30日放送の燕三条FMで、防災・災害の分野における女性の視点の必要性について啓発を行った。また、出前講座に関する問合せ時に、団体に対し、防災における男女共同参画の必要性に関するテーマのものを案内した。 工夫した点: 出前講座に関する問合せの際に、テーマ内容について周知した。 目標値への到達度: 燕三条FM放送回数2回で目標値達成</p>	<p>今後も防災・災害分野への女性の参画が図られるよう、引き続き啓発を行う。</p>	<p>A 1…3点 2…— 3…— 4…— 5…3点 6…3点 合計 9/9= 100%</p>